

秋の街道ニュースをお届けします。

みやぎ街道交流会ニュース

第11号 2009年10月23日 発行



天間林の一里塚からの風景（青森県上北郡東北町）

Interview

塩竈における 歴史的建造物 保存・活用 の取り組み

NPO みなとしほがま

歴史的建造物保存活用部会会長 高橋幸三郎 氏

交流会ニュース第11号では、みやぎ街道交流会の幹事であり、NPO 法人「NPO みなとしほがま歴史的建造物保存活用部会」の部会長でいらっしゃる、高橋幸三郎さんに、活動の取り組みなどについてご紹介いただきました。

NPOみなとしほがまは、現在6部会が活動しています。明治初期の廃仏毀釈をまぬがれ、多賀城市の寺院に移築されたものの、解体されるばかりであった鹽竈神社の別当・法蓮寺の向拝部分の保存運動、210年前の若宮丸遭難、そして、はからずも「初めて世界一周した日本人」となり生還を果たした郷土出身の漂流民の経緯を書いた小冊子の小中学生への無料配布、光源氏のモデルの一人ともいわれる源融を媒介とした京都下京区との交流、市内要所に歴史観光サインの設置、各種リーフレットの作成など広範囲な活動を繰り広げています。また、商社カメイ創業者の大正時代の和洋併置式住宅「亀井邸」の保存活用にも取り組み、常時、見学ができるようになっており、様々なイベント・市民活動に活用されています。現在、古文書部会では、東北学院大学の斎藤善之教授の指導の下、翻刻・現代語訳及び詳しいビジュアルな解説文を付した塩竈の代表的な地誌「奥塩地名集」の発刊にむけて取り組んでいます。

NPO みなとしほがまの概要

名称：特定非営利法人 NOP みなとしほがま
設立：平成15年12月
会員数：現在53名 賛助会員 7 法人
設立目的：①地域の歴史・文化の発掘・調査②その成果の市民等への広報・普及…そして、郷土への愛着心まちづくりへの活力を醸成し、塩竈の魅力、個性の情報発信への寄与。

NPO みなとしほがま・6つの分科会の構成

NPO みなとしほがま
—塩竈の古文書を読む会・
—ボランティアガイドの会
—しおがまカルタ制作部会
—津太夫・左平頭彰部会
—京都の縁部会
—歴史的建造物保存活用部会
：法蓮寺向拝プロジェクト/岩蔵プロジェクト/勝画楼プロジェクト/亀井邸プロジェクト



会員による鹽竈神社境内のガイドの様子

青いジャンパーが目印です！



亀井邸の大掃除



亀井邸での新酒発表会



塩竈市内各所に設置された歴史観光サイン

ボランティアガイドの会は、3年前に発足し、現在30名ほどで活動しております。鹽竈神社境内のガイドが中心になりますが、JRやバス会社・団体などから直接のガイド依頼も多くなっております。また、商店街を取り込んだコースなど、地域をいろいろ紹介したく、ガイドのコースも模索・実践しています。9月20日から10月4日までの土・日に、塩釜商工会議所の地域資源活性化プロジェクトに協力し、浦戸桂島及び石浜のガイドを受け持ち、延べ100人の応募者を5回にわたりガイドしました。桂島地区では四大観を海側から確認できる眺望の良い展望台を案内し、石浜地区の白石廣造邸跡で往時の隆盛を偲び、旧浦戸二小では「現代美術」を鑑賞しました。民宿では女将さん特製の浦戸丼（アナゴ丼）が振舞われ、たいへん好評で楽しい一時でした。このプロジェクトは、浦戸諸島の地域資源を活用した観光モデルコースの作成と郷土料理・土産品等の開発をめざしたのですが、次回は寒風沢を予定しています。

なお、NPOみなとしほがまは、国土交通省主催の平成21年度「地域づくり表彰」において、『全国地域づくり推進協議会会長賞』を受賞しました。皆様のご支援、ご協力の賜物と、この場をお借りしてご報告と御礼を申し上げます。（高橋幸三郎）



地域の方に見守られ歴史観光の除幕式



亀井邸での座談会

亀井邸との関わり、おもしろい話を話しました

高橋幹事ありがとうございました！
交流会ニュースでは、このように歴史や街道に関する活動を紹介し、会員相互の交流を深めていきたいと考えています。活動紹介をしたい方、紹介した活動に興味を持たれた方は、事務局までご一報ください。

イベント報告

2009年9月～10月

Report1

とうほく街道会議・第5回交流会 青森大会

2009.10.2～3 青森県青森市

とうほく街道会議の第5回交流会が青森県青森市で、10月2日(金)～3日(土)の2日間の日程で開催されました。

「どん、どん、どん」威勢の良いねぶた囃子とともに開演した青森大会。基調講演は「安藤氏の道～かいはどうは大陸に通ず」と題して弘前大学教授の斎藤利男氏が講演。続いての講演では「地域づくりの現場から・街道から考える地域づくり 地方のいいもの・ホンモノを探す」と題して、総務省地域力創造グループ地域政策課理事官であり、NPO活動を通じて地域づくりを実践されている重徳和彦氏から講演をいただきました。その後の分科会では、2会場にわかれて、「海に開かれた街道 歴史から地域資源を見直す」をテーマにしたパネルディスカッションと、「奥州街道一里塚群の保存と活用」と題して選奨土木遺産認定候補記念フォーラムが開催されました。夜は青森市内の「ねぶたの國たか久」で街道談義がにぎやかに開催されました。

2日目は、A：奥州街道～一里塚土木遺産コースに参加し、前日の分科会で紹介された一里塚を実際に見学することができました。もう一つのB：青森市内の奥州街道コースでは、市内散策の後、浅虫温泉につかり、2日間のイベントの疲れを癒したそうです。

今回の青森大会は、温かい手づくり感とともに、手つかずの資源や歴史を通じて、青森らしさ・東北らしさ・地方らしさが一貫して感じられる交流会であったと思います。

(日下レポートより)



Report2

羽州街道交流会・大鰐大会 2009.9.12～13 青森県大鰐町

第5回羽州街道交流会・大鰐大会が、9月12日(土)～13日(日)にかけて“おおわに山荘”を主会場に開催されました。

基調講演では、“津軽百年食堂”著者の森沢明夫氏から、「大鰐町の魅力～街道を歩いて～」と題して、自身が全国を放浪した経験や津軽百年食堂の取材を通して感じた地域の魅力とは何かについて、おもしろおかしく話して頂きました。講演に続いて分科会では、歴史、観光・まちづくり、食をテーマに熱心な討議が行われ、その後は大鰐の町めぐりを行い、「大円寺の大日様」などの歴史資源を案内いただきました。恒例の街道談義に続く2次会では、「岩手県住田町に街道団体」発足といううれしい出来事もあり、充実した1日となりました。2日目の探訪会では、素晴らしい矢立杉や緑の中、津軽公の参勤交代はむろん、菅江真澄・伊能忠敬・吉田松陰・大久保利通・イザベラバードらが通った街道を地元の中村さん・鷲谷さんの案内で探訪(堪能)しました。(山屋レポートより)



Report3

講演会 炭焼藤太を語る 2009.9.4 宮城県仙台市

みやぎ街道交流会のミニ講演会を、平成21年9月5日(土)みやぎNPOプラザにて開催いたしました。伝承の研究成果と語り部のコラボレーション『炭焼藤太を語る会』として、第一部『国営みちのく杜の湖畔公園ふるさと村民話の会語り部森 裕子さんの民話語り』と、第二部『高倉会長による研究成果の講演』の二部構成で開催し、会員の他、一般参加者の方を含め、約30名の方が熱心に聞き入っていました。

講演後の街道談議では語り部の森さんを囲み、京野さん持参の日本に1本しかない松島のお酒等々、美味しい地酒で交流を楽しみました。(森田レポートより)



仙台市内でもケヤキがほのかに色づき始め秋が感じられる今日この頃です。世間では楽天イーグルスの快進撃で、紅葉と相まって東北は紅一色といった感じですね。みやぎ街道交流会では、来月に主催イベント「in 越河・斎川」を予定しています。有意義なイベントとなるよう事務局一同準備を進めておりますので、みなさま是非足をお運びください。次回ニュースは来年1月頃を予定しています。お楽しみに。(くり)

みやぎ街道交流会からの お知らせ

Event Schedule

みやぎ街道交流会 in 越河・斎川 越河・斎川地区の歴史講演会と街道探訪会

11月23日(月) 勤労感謝の日
みやぎ街道交流会主催のイベントです。
身近な歴史に触れてみませんか?
※お申込・お問合せ先：みやぎ街道交流会

第10回ふくしまけん街道交流会 in 会津まほろば街道

11月14日(土)～15日(日)
会津まほろば街道がテーマの交流会。歴史散策の他、新米を使った美味しいご飯や地酒も楽しめます。
※お問合せ先：ふくしまけん街道交流会

おくの細道松島海道 松島観瀾亭・残月茶会

11月2日(月) 定員80名で締めきりです!
お天気になれば十五夜のお月様が見られるかも。船に乗り海から昇る月を眺め、地酒と牡蠣を味わう船上懇親会も企画されています。
※お申込・お問合せ先：おくの細道松島海道 事務局

七ヶ宿町観光協会 七ヶ宿湖一周ウォーク

10月30日(金) 定員残りわずか…お早めに!
秋空のもと、蔵王連峰を望みながらの約12kmのハイキングです。
※お申込・お問合せ先：七ヶ宿町観光協会